



みてはいよ!!

第58回
全国保育問題研究集会・熊本集会



熊本集会まで、あと **183日**



12月5日、テーマ決定しました!!!

愛と平和を いつも子どもたちの真ん中に

- ・地上のたからである子どもの権利を守りぬく社会を
- ・子どもに希望と安心を おとなに生きがいとしあわせを
- ・保問研 83 年の歴史に学び、つながり、伝えあう保育を

集会まで半年、



特別講座、決まってきました!

熊本では素晴らしい講師の先生を全国からお呼びして
みなさんと深い学びをしていきたいと思っています。
さきに3個の講座をご紹介します!!

科学的にみた吃音と、子どもの権利

講師：菊池良和さん（九州大学病院 医学博士）

菊池さんご自身も幼少期から吃音（どもり）に悩まれ、幼稚園のお遊戯会でセリフをどもったことで、みんなに笑われ、幼心に『あれ、なんかいけないことをしたのかな』と思ったとのこと。小学校では、国語の授業で交代で教科書を読む『本読み』が苦痛で心臓がバクバクして、家で練習してもうまく読めない。『なんでそんなしゃべり方をするのか』と聞かれたこともあるそうです。まねをされ、からかわれる。劣等感を感じ過ごしてきた先生が、吃音のある子のロマンを示し、根拠に裏打ちされた事例を紹介します。

子どもが自ら育つ園庭整備 ～安全・安心から生まれる変化～

講師：木村歩美さん（神奈川 おおぞら教育研究所）

園庭整備をはじめとする保育者の「やってみたい」を応援する研修講師、コーディネーターとして全国の保育現場を飛び回っている歩美さん。園庭が変わると、子どもが変わり、大人が変わり、保育がもっと楽しくなる! 子どもを真ん中にすえた研修を軸に、保育者・保護者・地域が一緒に進める、安心で楽しい園庭整備のノウハウを多くの事例と共に紹介する「子どもが自ら育つ園庭整備 挑戦も安心も大切にする保育へ」の本を出版しています。写真もたくさんあって見やすいですよ～(^)/

こどもの本屋「竹とんぼ」の38年～今、思うこと

講師：小宮楠緒さん（子どもの本の店竹とんぼ）

「こんなに素晴らしい本があるのに、それに出会うことなしに大人になっていく、子どもたちがいるのは、なんとももったいない」という思いから選りすぐりの絵本・編み物・図鑑などをおいている西原村にある本屋さん。中に入るとアットホームな雰囲気、長年愛され続けている本が出迎えてくれます。そんな本屋の小宮さんが悪戦苦闘の日々を乗り越え「竹とんぼ」が生き抜いてきたのはなぜだったのか? 38年前から守り通してきたものの根底には平和を祈り、本物を求め、戦い続けた父・北御門二郎の思いがあった。今、本屋に求められるものも、実はそれではないか、語ります。

